

(読者の声1) 2020年の不正選挙につきジョージア州選挙管理委員会が州司法長官へ30日以内の捜査命令を決議  
Georgia Election Board Says: State AG Must Investigate Fraud In 30 Days!

<https://www.emerald.tv/p/georgia-election-board-says-state?utm>

2020年の大統領選挙では激戦州で様々な不正選挙が行われていたことは当事者による宣誓証言(裁判の証拠となる)に加え、開票所、集計所に備え付けられた監視カメラに記録されていた不正の数々がユーチューブで拡散されたが、あっという間に削除されていた。

ジョージア州では開票作業、集計作業の休憩時間にテーブルの下に隠していた大きなスーツケースから大量の投票用紙らしきものを取り出し開票機のスキヤナーにかけている様、何度も何度もスキヤンしている様子まで録画されていた。

ジョージア州知事は当初は不正選挙はなかったと言い張っていたが、トランプ大統領との電話の会話で不正選挙があったことを認め謝罪したことが公表された。

ところがその直後に彼の娘のボーイフレンドが運転していた車が走行中に爆破され死亡した。するとジョージア州知事は前言を翻し、不正選挙はなかったと言い張る姿に戻ってしまった。

以降、不正選挙の数々を地道に調査する共和党側と、それを妨害するだけでなく濡れ衣の罪を被せて裁判にかける民主党側の検察官等(ホワイトハウスと繋がっていたことが判明)との壮絶な戦いが続いていたが、それが漸く決着するかもしれない最終局面になった。

具体的な証拠をもとにして州の選挙管理委員会が州の司法長官に対して30日以内の不正選挙の捜査命令を決議したのだ。

ジョージア州選挙管理委員会が今までに把握した2020年大統領選挙の不正は次のとおりであり、この不正がなければトランプ大統領の勝利は明らかだった。

不正の行われた中心はアトランタを含む最大の地域であるフルトン郡であり、フルトン郡の選挙管理委員会も不正に加担していたとの証拠多数。

17,852票:投票用紙が証拠として存在しない(のに集計に加えられた)、20,713票:電子投票機に形跡が残されていない(のに集計に加えられた)、3,930票:人間が干渉して複数回集計機にかけられた。

合計:42,495票

2020年の選挙でのそれぞれの得票数は以下の通り。

トランプ大統領:2,461,854

バイデン候補:2,473,633

その差:11,779

選挙管理委員長の法的な脅しによる妨害工作があったが、選挙委員会は不正選挙の捜査を州の司法長官に命じた。  
(費府の飛行士)